

さかど
ロイヤルの園だより

発行
(福)栄光会
さかどロイヤルの園
坂戸市大字森戸 739-1

「濃い一年」

二層浅緑のくんだり
介護職員



令和元年九月にさかどロイヤルの園へ入職しもうすぐ一年となります。介護の仕事に従事して十年以上が経ちますが、今までの経験の中でも濃い一年だったと思います。

この一年で看取りに携わることで、人生の最期をどう迎えるかについて改めて考えることができました。「入居者は何を望んでいるのか?」家族はどう考えているのか? 私たち介護職に何ができるのか。様々なことを考える機会となりました。

初めて勤めた施設で「入居者の人生に点々と関わるのではなく、その人生に線のように寄り添って関わっていく」との考えを当時の上司から口酸っぱく言われたことを思い出します。

この一年で学んだこと、感じたことは、今後の介護人生に必ず役に立つように生かしていきます。そして、次の一年に、また次の一年へと生かし、自分自身が成長することができるよう努力していきたいと思えます。

コロナ禍で外出や面会の制限があり大変な状況ではありますが、「ご入居者が安心して暮らせるよう、ご家族が無用な心配をしなくともよいように介護を行ってまいります。」



「色んな行事」

一層浅緑のくんだり
介護職員



新型コロナウイルス感染症対策のため、ご家族との面会を自粛させていただいていましたが、六月中旬から予約制で再開いたしました。

今までのように居室での面会はできませんが、久しぶりにご家族様と会われたご入居者はとても嬉しそうでした。お話ししたい事が山ほどあり、「二十分じゃあ、やっぱり短いわね」と話されていました。

そんな中、「ご入居者にもっと楽しんでいただき、写真も撮りましょう」ということで、四月から一層浅緑・瑠璃のくだりでは、担当を決め色々な行事を行っています。最近では、たこ焼きパーティー、演奏会、かきた大会、ボウリング、風船バレー等。

普段の食事では食が細かい方も手を伸ばしてたこ焼きを召し上がっていたり、他の方に負けじと頑張られたり。普段ではなかなか見られない姿が発見出来たりで、職員も一緒に楽しんでいきます。素敵な写真も増えました。

これからも色々な行事を計画し、「ご入居者にとっても辛い時期に少しでも楽しい気持ちになっただけよう、支援していきたいと思えます。」



「字を書いてみました」

二層亜麻のくんだり
介護職員



先日、亜麻のくだりのご入居者二名にリビングで字を書いていただきました。

普段のリビングの様子は、テレビを見たり、居眠りをされたり、時には楽しいはずのお話がエスカレートし「ご入居者同士の言い争いに発展したり。日々、色々な場面が見受けられ、にぎやかな時もあれば、静かな日もあり、職員も含めリビングは皆のつどいの場になっています。

そんなある日の夕方、東京都出身のA様にボールペンを持っていただき、東京の地名を書いていただいたところ、九十ほどの地名を「新宿か、久しく行っていないな。渋谷か、全くわからないな。練馬は知ってる! 私が居たところ(笑)」昔を振り返りお話ししながら、地図を見ながらあっという間に四十分集中して書かれました。

もう一方のB様は習字クラブに皆勤で参加されている方です。この方には詩を転記することを勧めました。この方も、言葉に出しながら「この詩は良い詩ね。この詩は知ってる」など、一つ書くごとに話され集中して三十分が経ちました。

お二人とも字を書いている時は全くテレビを見ることはなく、お互いに会話することもなく、集中して字を書いています。この集中力には驚きました。いつも一緒にテーブルの方も感心しながら、字を書く姿を見て「すごいわ。私には出来ないわ」と仰っていました。

お二人とも久しぶりにペンを使用し書いたせいか、目頭を押さえ「目が痛い」と仰りながらも「でも良かった」と話していました。

今後とも字を書く機会を継続的に持てるよう支援していきたいと思えます。また、二層亜麻のくだりらしい、にぎやかなリビングにしていきたいと思えます。

「秩父巡礼霊場巡り」

四層鴛のくんだり
介護職員



昨年より「神社を巡って、御朱印をいただく」という流行に乗り、霊場巡りを始めました。現在は神社だけでは物足りず、お寺まで巡るようになりました。お寺は御朱印をいただけるところが少なく断られることもしばしば……。秩父は霊場も多く、宗派によっても巡礼のコースが変わったりと色々あるようです。

今時は、巡礼と言っても歩くだけではなく、車や自転車（サイクリング巡礼）もありQRコードを登録し、バーコードリーダーで一、三十四か所を巡り全部揃ったら特典が得られるなど色々あります。本来の目的とはかけ離れますが、どこの市町村も町おこしの為試行錯誤しているのだなと思いました。

新型コロナウイルスの影響で四月から御朱印をいただけない月が続き、やっと先月秩父巡礼へ行くことができました。しかし、また新型コロナウイルス感染者が増え始め、巡礼ができなくなるのではないかとドキドキしながら毎日過ごしています。

何となく気持ちが落ち込んだり、心がモヤモヤしている時、神社の鳥居をくぐるだけでも心が癒され、心が洗われるそんな気がします。御朱印はその神社、お寺によって書かれている事や絵なども様々です。どんな神様が祀られているのか調べるのも楽しみの一つです。

神様・仏様に触れることがこれほど良いことだとは、この歳になるまで解りませんでした。流行に乗って始めたために巡っています。コロナウイルス感染が怖いのでお勧めは致しませんが、こういう渋めの楽しみがあることを知っていただけならと思います。



「楽しみな行事」

三層浅緑のくんだり
介護職員



六月二十四日に、三層浅緑・瑠璃合同でお茶会が開かれました。浴衣を着た職員がお抹茶を点て、ご入居者にもみじまんじゅうとムースを召し上がっていただきました。ご入居者もうれしそうにされていました。

また、七月三日には七夕そうめん会の会を行いました。朝から職員がそうめん、あんみつ作りを行い、昼食に召し上がっていただきました。めんが好きなご入居者は「おいしいよ」と笑顔を見せてくださいました。

和と涼をお届けでき、楽しんでいただけて嬉しく思います。

「お魚観賞」

三層亜麻のくんだり
介護職員



我が家ではメダカや熱帯魚・エビ等多数飼育しております。十年ほど前に屋外でメダカを飼い始めた事がきっかけで、熱帯魚やエビなどにも手を出し、室内では水槽がどんどん増えていきました。その水槽ですが初めの頃は飼育水やビタミン・餌・バクテリアなどあらゆる事を検索し勉強しました。しかし、ネットでは情報が多すぎて何を信じて良いのかわからなくなることがあります。数えきれないほどの物が売っていますし、良いと言われるものは何でも鵜呑みにしてビタミン剤やら何やら水槽に色々な物を入れてしまい、お魚が長生きしないという状態でした。今では週に一回、三分の一の水の入れ替え時にカルキ抜きと愛情だけで充分になりました。何も入れなくても時間が経てば自然にバクテリアが生息しピカピカの強い水になっていく。強い水は魚が長生きする水です。そしていつしかピカピカの水を見て癒される水観賞にもなっていました。ピカピカの水を維持するためのメンテナンスは手間と時間がかかりますが、朝はまず水の色を見て「うん、今日も照ってるね」と目に見えないバクテリア様に感謝をし自己満足。夜には猫に邪魔されながらお魚観賞のひとつが格別です。

お知らせ

「担当者からのおたよりについて」

面会自粛の期間に「担当者からのおたより」を送らせていただきました。職員にとって日々のケアを振り返る良い機会になりました。「家族から「おたより」をもらい、今までわからなかったことがわかり安心しました。「担当者から直接様子を聞きたい。」等のお声をいただきました。

次号の「担当者からのおたより」は十月とさせていただきます。楽しみにしていただけましたら幸いです。

(施設長 齋藤 悦子)

